

---

高齢者の状態・ケアの内容等を  
収集するデータベース(CHASE)

CSV連携仕様について

---

令和 2 年 5 月  
厚生労働省老健局

# 目次

1. システム概要 .....	3
1.1 背景 .....	3
1.2 目的及び期待する効果.....	3
1.3 CSVファイルからのデータ取り込み.....	3
2. CSVファイル取り込み機能について.....	5
2.1 概要 .....	5
2.2 稼動環境 .....	5
2.3 連携頻度について .....	6
3. CHASEインターフェース仕様について .....	7
3.1 概要 .....	7
3.2 インターフェース一覧 .....	7
3.3 インターフェースファイルの関係について .....	8
4. データ項目仕様について .....	10
4.1 項目一覧.....	10
4.2 ファイル構成 .....	10
4.3 ファイルエンコード .....	10
4.4 ファイル命名規則 .....	11
5. CSV連携仕様書全般に関する問合せ先.....	12

<別紙>

・CHASE インターフェース項目一覧

# 1. システム概要

## 1.1 背景

2025年には団塊の世代が75歳以上となり、75歳以上の人口及び総人口に占める人口比は2040年以降まで増加を続けることが見込まれる。このような中で、介護サービスの需要は大きく増大することが見込まれ、制度の持続可能性を確保できるよう、介護職員の働き方改革と利用者に対するサービスの質の向上を両立できる、新たな「介護」の在り方について検討を求められている。

平成12年に開始された介護保険制度は、単に介護を要する高齢者の身の回りの世話をするというだけでなく、高齢者の尊厳を保持し、自立した日常生活を支援することを理念とした制度であり、利用者のニーズに対応して多様なサービス類型が用意され、また個々の類型の中で、独自の工夫を行っている事業者も多い。しかしながら、そのアウトカム等について、科学的な検証に裏付けられた客観的な情報が十分に得られているとまではいえない状況であり、個々の利用者が、そのニーズに応じて、多様なサービスを比較しつつ、選択を行えるよう支援するためには、介護分野においても科学的手法に基づく分析を進め、エビデンスを蓄積し活用していくことが必要である。また、このような分析の成果をフィードバックすることによって、事業者におけるサービスの質の向上も期待できる。

このような問題意識等に基づき、厚生労働省は、介護分野におけるエビデンスの蓄積と活用のために必要な「介護に関するサービス・状態等を収集するデータベース」の構築を目指し、令和2年度に「高齢者の状態・ケアの内容等を収集するデータベース（以下、「CHASE」という。）」の本格運用を開始した。

## 1.2 目的及び期待する効果

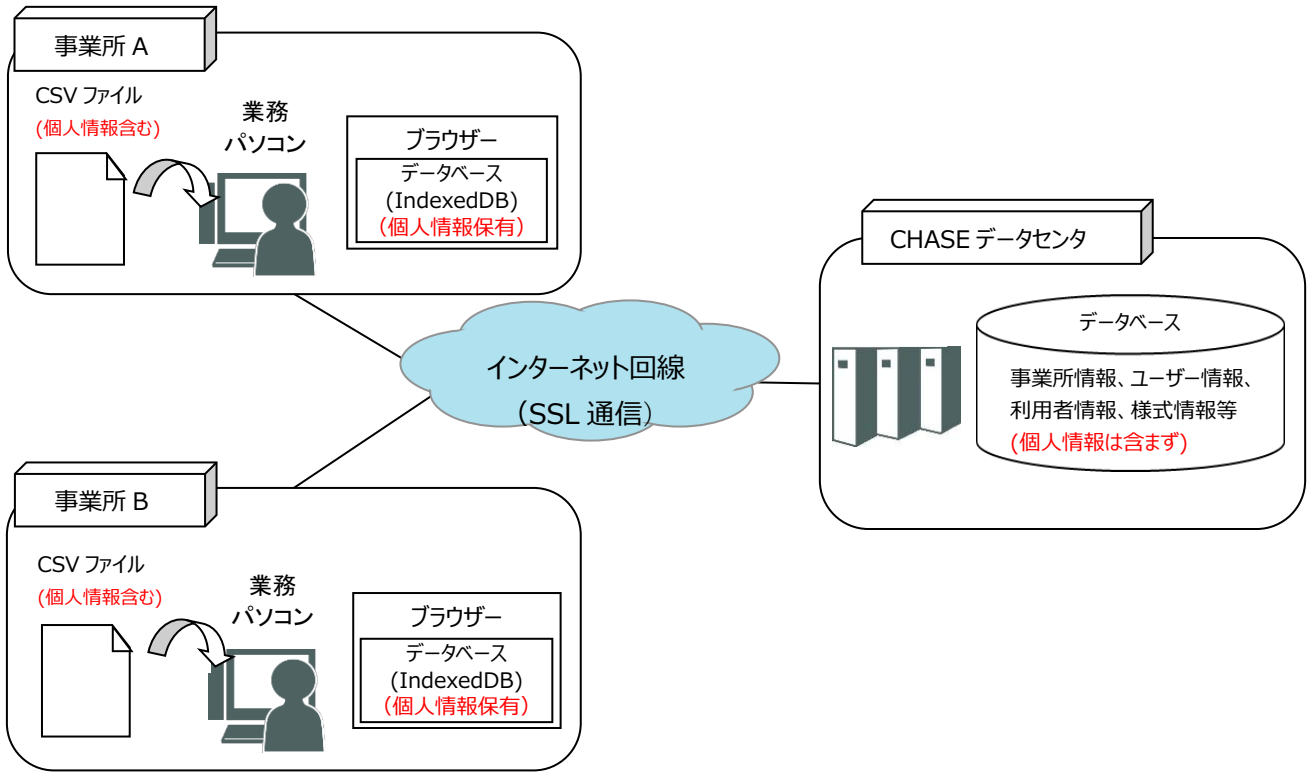
厚生労働省が保有する介護保険総合データベース（以下、「介護DB」という）では、要介護認定情報・介護レセプト等情報を収集しているが、介護サービス利用者の詳細な状態やケアの内容については把握することができない。

CHASEでは、これら介護ケアの内容や効果に係る情報の把握を可能とするため、介護事業所から収集・蓄積した状態やケアの内容に関する情報のデータベースを構築することを目的とする。本データベースを構築することにより、介護DBに収集されている要介護認定情報・介護レセプト等情報を補完し、栄養や認知症等に係る項目などの分析・評価を可能とすることが期待される。

## 1.3 CSVファイルからのデータ取り込み

CHASEで収集するすべての情報について、介護事業所で新たに入力を行うことは業務負担も大きく、現実的ではない。介護業務ソフトを導入している介護事業所では、既にCHASEで収集する情報の一部は介護業務ソフト上で電子化されて管理されており、この情報をCHASEに取り込むことで介護事業所における負担を少なくしながらCHASEで必要となる情報の収集が可能となる。こうしたことを考慮して、「2. CSVファイル取り込み機能について」に示すとおり、CHASEは、介護業務ソフトから作成されたCSVファイルの取り込み機能を有する。各事業所がインターネット回線にてCHASEに接続し、介護業務ソフトからCHASEクライアントアプリケーションに共通インターフェースを介することにより、CSVファイルの取り込みを可能とする。

CSVファイル取り込み機能により取り込むデータのうち、個人情報に該当するものは、業務パソコン端末内のブラウザに内蔵しているデータベース（IndexedDB）に保存し、個人情報以外の情報はインターネット回線にてCHASEのデータセンターにあるデータベースに登録する。CSVファイルの取り込み時におけるデータ保存の流れを、「図表 1.3.1 CSVファイルからのデータ取り込み時の流れ」に示す。



図表 1.3.1 CSV ファイルからのデータ取り込み時の流れ

## 2. CSV ファイル取り込み機能について

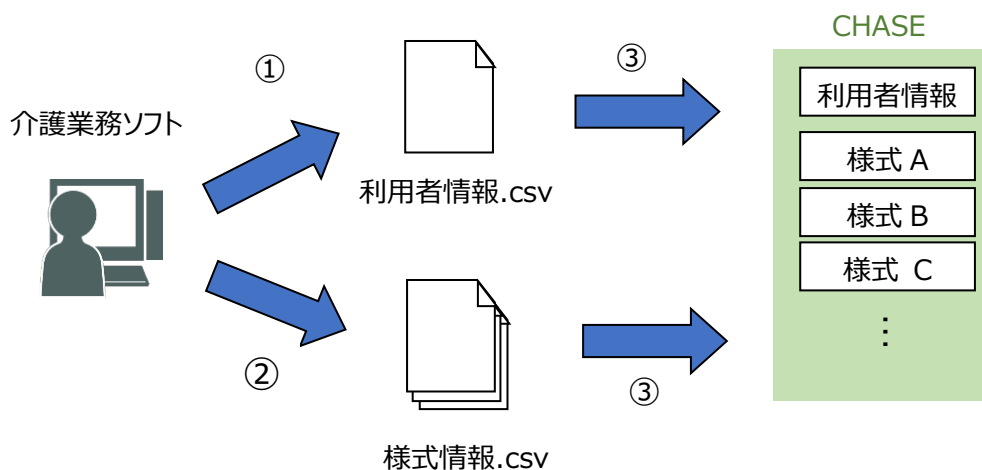
### 2.1 概要

CHASE は、介護業務ソフトから作成された CSV ファイル取り込み機能を有する。CSV ファイル取り込み機能とは、介護業務ソフトから作成された CSV ファイルからデータの取り込みを行う機能であり、介護業務ソフトで作成した情報を、CHASE で取り扱う情報（介護サービス利用者の詳細な状態やケアの内容に関する情報等）として CSV 形式で取り込み、システムに登録する。

事業所が介護業務ソフトから作成した CSV ファイルのデータを CHASE に取り込む流れは、以下のとおりである。

- ① 利用者に関する情報を介護業務ソフト等から、CHASE に対応した CSV ファイルで書き出す。
- ② 介護業務ソフト等から作成した様式を、CHASE に対応した CSV ファイルで書き出す
- ③ 上記①、②で作成した CSV ファイルを CHASE クライアントアプリケーションに一括して取り込む。

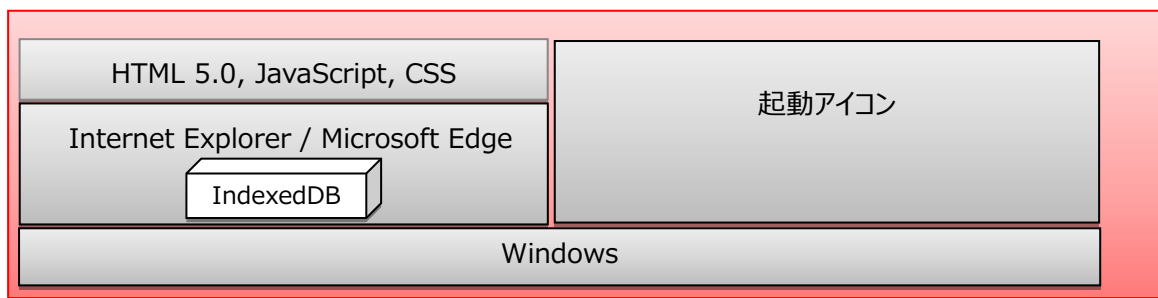
以上の流れを「図表 2.1.1 介護業務ソフトから出力した CSV ファイルの CHASE への取り込みの流れ」に示す。



図表 2.1.1 介護業務ソフトから出力した CSV ファイルの CHASE への取り込みの流れ

### 2.2 稼動環境

CHASE クライアントアプリケーションが稼動する業務パソコンの構成を「図表 2.2.1 CHASE の稼動に必要な業務パソコンの構成」、必要となるソフトウェアやツール等を「図表 2.2.2 CHASE の稼動に必要なソフトウェアやツール（業務パソコン）」に示す。



図表 2.2.1 CHASE の稼動に必要な業務パソコンの構成

No.	項目	内容
1	OS	Windows 8.1, 10
2	ブラウザ	Internet Explorer11, Microsoft Edge ※個人情報に該当するものは IndexedDB 上に保存
3	起動アイコン	CHASE を起動するツール (起動ランチャー)

図表 2.2.2 CHASE の稼動に必要なソフトウェアやツール (業務パソコン)

### 2.3 連携頻度について

介護業務ソフトから CHASE に連携する頻度は、月 1 回程度を想定する。介護事業所職員の操作負担をできる限り低減できるように、CHASE ヘデータ提供を可能とする利用者の「3. CHASE インターフェース仕様について」に示すデータについて、介護業務ソフトにおいて前回提供時からの更新分（差分）を自動抽出できるよう考慮することが望ましい。

### 3. CHASE インターフェース仕様について

#### 3.1 概要

CHASE は、介護業務ソフト等から作成した CSV ファイルを介してデータの取り込みを行うインターフェースを持つ。

インターフェースの CSV ファイルの取り込みを行う機能では、介護サービス利用者情報を CHASE に登録し、その後、各様式情報を CHASE に登録する。CHASE に登録するデータ項目の詳細については、「4.データ項目仕様について」を参照すること。

#### 3.2 インターフェース一覧

CHASE が有するインターフェース一覧を「図表 3.2.1 インターフェース一覧」に示す。

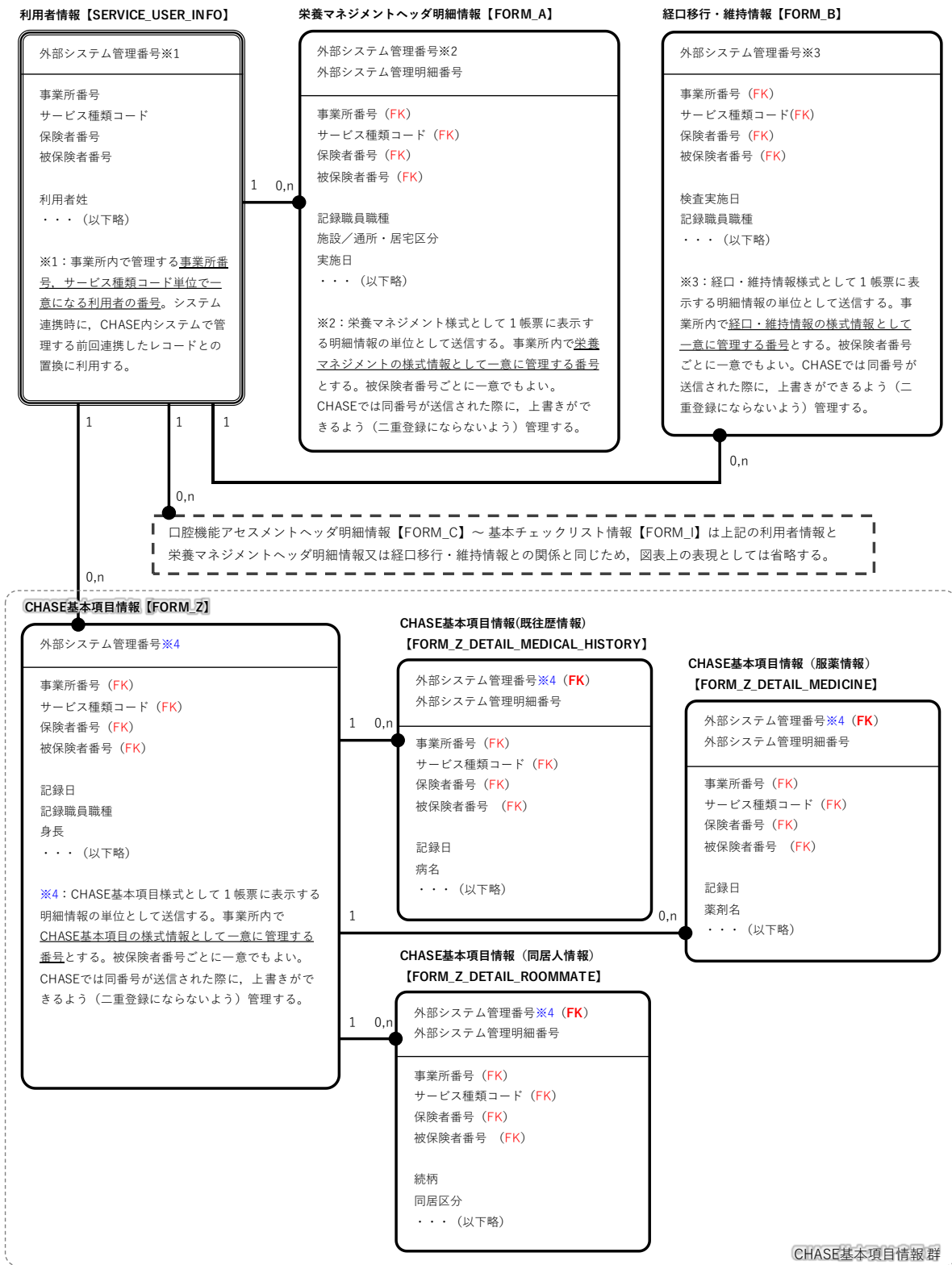
インターフェース名	インターフェースの種類を示す物理名	説明
利用者情報	SERVICE_USER_INFO	介護利用者情報に係る CSV データを CHASE に登録する。
栄養マネジメントヘッダ明細情報	FORM_A	利用者の栄養マネジメントヘッダ明細情報に係る様式の CSV データを CHASE に登録する。
経口移行・維持情報	FORM_B	利用者の経口移行・維持情報に係る様式の CSV データを CHASE に登録する。
口腔機能アセスメントヘッダ明細情報	FORM_C	利用者の口腔機能アセスメントヘッダ明細情報に係る様式の CSV データを CHASE に登録する。
口腔機能管理記録情報	FORM_D	利用者の口腔機能管理記録情報に係る様式の CSV データを CHASE に登録する。
認知症情報	FORM_E	利用者の認知症情報に係る様式の CSV データを CHASE に登録する。
興味関心チェック情報	FORM_F	利用者の興味関心チェック情報に係る様式の CSV データを CHASE に登録する。
居宅訪問チェック情報	FORM_G	利用者の居宅訪問チェック情報に係る様式の CSV データを CHASE に登録する。
各アセスメント様式評価情報	FORM_H	利用者の各アセスメント様式評価情報に係る様式の CSV データを CHASE に登録する。
基本チェックリスト情報	FORM_I	利用者の基本チェックリスト情報に係る様式の CSV データを CHASE に登録する。
CHASE 基本項目情報	FORM_Z	利用者の CHASE 基本項目情報に係る様式の CSV データを CHASE に登録する。
CHASE 基本項目情報 (既往歴情報)	FORM_Z_DETAIL_MEDICAL_HISTORY	利用者の既往歴情報に係る様式の CSV データを CHASE に登録する。
CHASE 基本項目情報 (服薬情報)	FORM_Z_DETAIL_MEDICINE	他システムにて作成された利用者の服薬情報に係る様式の CSV データを CHASE に登録する。
CHASE 基本項目情報 (同居人情報)	FORM_Z_DETAIL_ROOMMATE	他システムにて作成された利用者の同居人情報に係る様式の CSV データを CHASE に登録する。

図表 3.2.1 インターフェース一覧

### 3.3 インターフェースファイルの関係について

インターフェースファイルの関係について、「図表 3.3.1 CHASE インターフェースファイルの関係」に示す。利用者情報を親ファイルとして、各様式の情報が紐付く構造とする。なお、それぞれのファイルにある外部システム管理番号は、同一番号がCHASEに送信された際に、過去に連記されたデータを上書き（更新）ができるよう（二重登録にならないよう）に連携する番号である。例えば、栄養マネジメントヘッダ明細情報であれば、対象の事業所内でその栄養マネジメントの様式情報を一意に管理する介護業務ソフト上のプライマリーキーに相当する項目が連携されることを想定している。ただし、図の下段にある既往歴情報、服薬情報、同居人情報についてはCHASE基本項目情報を親ファイルとする子明細（ファイル）として連携することになっているため、外部システム管理番号が外部キーの1つとして関係する。したがって、既往歴情報、服薬情報、同居人情報の外部システム管理番号は、CHASE基本項目情報と同一の外部システム管理番号となることに注意すること。





図表 3.3.1 CHASE インターフェースファイルの関係

## 4. データ項目仕様について

### 4.1 項目一覧

各インターフェースファイルにおけるデータ項目の一覧は、別紙「CHASE インターフェース項目一覧」を参照すること。

### 4.2 ファイル構成

介護業務ソフトより出力し、CHASE にて取り込むファイルは CSV ファイルとし、次の構成とする。

行数	説明	備考	例
1	Data type	IF の種類を表す物理名 -> SERVICE_USER_INFO , FORM_A , FORM_B , ...	1 行目 : SERVICE_USER_INFO 2 行目 : name,birthday,address 3 行目 : AAA,19901231,住所 1
2	Column names list	- 項目の物理名をカンマ「,」で区切ったもの	4 行目 : BBB,19801005,住所 2 5 行目 : CCC,19800115,住所 n
3	Data row 1	- データをカンマ「,」で区切ったもの - カンマ「,」もしくはダブルクォーテーション「"」を含む可能性のある項目については、ダブルクォーテーションで囲まれるものとする（CSV ファイルを作成するソフトウェア仕様による）。	
...	...		
n	Data row n-2	- 以下 2 つの特殊処理を設定する： ・空値（Null に該当。CSV ファイル内では連続したカンマ。） → 更新時：更新しない挿入時：Null で DB に格納。 ・半角空白 → Null に置き換える。（データ削除目的の特殊処理） → 全角空白、2 つ連続した半角空白は通常データ扱い。	
—	改行文字	改行コードは、CR-LF 又は CR とする。	

図表 4.2.1 CSV ファイルのデータ構成

### 4.3 ファイルエンコード

UTF-8 又は Shift-JIS (MS932) のいずれかとする。なお、UTF-8 の場合には、BOM は付ける、付けないどちらでも構わない。

#### 4.4 ファイル命名規則

ファイル名に関する規則は設けないが、介護事業所職員は CHASE の CSV 取込み操作においては、まず利用者情報を取り込む必要があることから、対象のデータファイルをわかりやすく識別できるよう固定的な名称を要する場合は、以下を推奨する。

推奨ファイル名称 = [Data type] + "\_" + [管理連番] + [独自記号] + ".csv"

例) 利用者情報のファイル 2 種類と、栄養マネジメントヘッダ明細情報。

- 1 SERVICE\_USER\_INFO\_1\_20191120.csv
- 2 SERVICE\_USER\_INFO\_2\_20191120.csv
- 3 FORM\_A\_1.csv

## 5. CSV 連携仕様書全般に関する問合せ先

本 CSV 連携仕様書に関する質問及び CSV 連携に係るテスト等の問合せは、厚生労働省の委託先である CHASE 運用保守事業者の「CHASE ヘルプデスク」にて受付けを行う。仕様に関する質問やテストの相談については、以下の E-mail 宛に問合せをすること。なお、問合せをする場合には、CSV 連携を予定する介護事業所名称と事業所番号を問合せ内容に含めて行うこと。

【CHASE ヘルプデスク 連絡先】：

E-mail : [chase@toshiba-sol.co.jp](mailto:chase@toshiba-sol.co.jp)